

# 自衛隊への宛名ラベル提供はやめよ

## 日本共産党市議団が馬場、牧田両県議と共に市長に要請

上越市は、自衛隊からの要請に基づき、今年度から18歳と22歳の市民情報（約3300人分の住所、名前）を宛名ラベルという形で自衛隊に提供する方針を決めました。これは日本共産党市議団が6月議会中に確認しました。

こうした事態を受け、市議団では護憲派県議にも働きかけ、6月26日、中川市長に、馬場、牧田両県議と共に、自衛隊へのラベル提供は「本人の同意なしに個人情報を提供することを禁じた個人情報保護条例に違反し、プライバシーの侵害にあたる」として、速やかに新方針を撤回し、自衛隊へのラベル提供をやめるよう要請しました。

これに対して対応した八木副市長は、「国や県の通知などにに基づき粛々としてやっている。ただ、自分の情報の提供をやめてほしいという除外申請の周知を市のホームページで行った

が、その期間は3週間ほどで短かったと反省している。今後は改善していきたい」と答えました。

要請行動の中で、上越市は、今月19日、自衛隊に宛名ラベルを提供したことを明らかにしました。提供にあたっては、自衛隊との間で覚書を交わし、「シールをコピーすることなどにより情報を保有しない」となっているとしました。今回の情報提供の前に、市のホームページで自分の情報は除外してほしいと申請できることを周知したということですが、申請が出たのは対象者のうちわずか1名だけだったことなどもわかりました。

要請行動に参加した議員からは、「国からの通知でも情報提供を義務づ



けたわけではない。そこは自治体の判断だ」「議会にも情報提供がない中で行われたのは遺憾だ」「マイナンバーカード問題で市民もプライバシー保護については心配している」などとして方針の撤回を重ねて求めました。



### 「池の平青少幼年センター」設立50年

東本願寺の「池の平青少幼年センター」設立50周年記念イベントが25日が同センターであり、参加してきました。私が行った時間は、ちょうど、音楽グループのマリキータのみなさんやアリコさんが登場する時間帯でした。演奏も歌も気持ちよく聴くことができました。会場では、シャボン玉も飛ばされていました。マリキータの演奏では踊りが付きものです。この日も素敵な演奏が流れる中、楽しい踊りが披露されました。

◎7月2日（日）午後2時から春日謙信交流館にて日本共産党時局演説会が開催されます。弁士は紙智子参院議員、藤野保史前衆院議員ほか。マイナンバーカードと健康保険証問題など、市政でも重要となるテーマについても語られます。無料で、ぜひお出かけください。

◎一般質問の報告は先送りします。次週、掲載の予定です。



【ドクダミ】ドクダミ科の多年草。漢字で「藪草」と書きます。散歩していて5枚の白い苞（ほう）を見つけました。通常見かけるものは4枚です。花の基部にある白い苞は特殊化した葉です。私は長年、花びらだと思っていました。花期は5月～8月。花言葉は「野生」「白い記憶」。6月25日に撮影。

## はしづめ法一の活動レポート

No.2116 2023.7.2

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

第七六三回

似顔絵

最近、似顔絵を次々と描いていますね。昔から描いていたんですか……同じ区内に住む男性から先日、こういう質問が寄せられました。今回はその質問を意識しながら似顔絵への私の想いを書いてみます。

私が似顔絵を意識的に描いたのは大学時代からです。当時、落語研究会のマナーシヤールをやっていた、口演会の案内ビラなどに描いたのが最初だったと思います。褒められた記憶はないので、話題となるような出来ではなかったのだと思います。

似顔絵として、多くの人を描くことになったのは旧吉川町時代に農業委員をやっていた時でした。多分、私が二十代から三十代前半頃だったと思います。当時、農業委員会より「みどり」を年に何回か発行していて、農業委員全員（二〇人）の似顔絵を描いていました。

私の手元に、当時の農業委員会だよりの切り抜きが残っています。たぶん、記念にとっておいたのだと思います。当時の会長は小田原清三郎さん（故人）でしたが、農業委員紹介欄は、私に編集を任せていただきました。委員紹介欄には似顔絵の他、委員の人柄や活動歴も書いてありました。

「委員紹介」を見ると、「これは似ているな」と思った作品がいくつもありました。そのうちの一人は北井博さん。大きな顔と下がり気味の目じりが特徴的な人でした。紹介文には「稲作プラス養蚕の複合経営で頑張る若手農業委員」とありました。

竹内三蔵さんもすぐにわかりました。細長い顔に小さな目、目の下の皺（しわ）が目立ったものですが、よく描かれています。紹介文には、「最近孫が三人になり、長男一夫さんに経営をバトンタッチ。働き者で人望厚い」と書かれています。

すでにお二人とも鬼籍入りされていますが、農業委員一期生だった私に委員活動などの基本をいろいろ教えてくださった人だ

ちです。懐かしく思い出しました。

ここ数年、私が発行している活動レポートでは写真よりもイラストを多用しています。写真で肖像権が問題にならないようにしたいということに加え、親しみやすい記事にという思いがそこにはあります。

ありがたいことに、このイラストのなかでも似顔絵風に描いたイラストに感想を寄せてくださる人がけっこうおられます。

先日もある家でお茶をこ馳走になついたら、「橋爪さん、似顔絵、どうやって描いているの。何とも言えない味が出るし」と訊（き）かれました。

昔から私はボールペンを使って描くことが多いのですが、最近はブルーブラック（青黒）のボールペンで一気に描いています。人の顔を描くときは、パッと見た時の最初の印象を大事にしています。例えば眉毛、太くて両端が下がってれば、その眉毛を描いただけで、その人の雰囲気が出ます。まんまるのほっぺが印象に残った人は、できるだけまんまるのほっぺを誇張して描きます。それでその人らしさが生まれます。

イラストは大きな失敗がない限り、そこで描いたものは実物と似ていようがうまくカットとして使用しています。面白いことに、失敗作だと思うものでも、顔の表現に新たな工夫を見出すことがあります。先日、ある女性の顔を描いていて、左の頬にうっかり縦線を入れてしまいました。それで、それを隠すために灰色でその部分を覆ってみました。顔に影が入った感じとなりましたが、そのおかげで高齢の人らしい顔になりました。

最近似顔絵に色を塗っています。髪の毛、衣服などに色を塗ると、その人の特徴がクローズアップされることも少なくありません。描いた似顔絵はまだまだのレベルですが、益々楽しくなってきました。

## オニバス再生へ市民団体・研究会・学校が丸

三和区で、島倉谷内池のオニバス再生の取組が本格化してきています。

この取り組みは、「三和の自然と地域を育む会」（佐藤正春会長）が中心となり、新潟県生態研究会（藤本孝昭会長）、三和中学校の協力を得て進められています。これまで、島倉谷内池の浚渫、堆積土の攪拌、種子の確保と中学校プールでの栽培などが進められてきました。

6月23日、「育む会」の佐藤会長さんから案内していただき、オニバス再生に向けた島倉谷内池の整備の進み具合、次々と葉を出し始めたオニバスの生育状況などを見せていただきました。ずいぶんたくさんの葉を確認できましたが、よくここまで再生させたものだと思います。また、三和中学校3年生の特別活動の時間における新潟県生態研究会の皆さんによるオニバスについての説明も聴かせていただきました。

私はこれまで吉川区原文町の場々谷池、同区内小苗代池、朝日池でオニバスを見てきましたが、いずれも葉が大きくなってからでした。この日は、葉がまだ数センチのものから初めてみました。そして、湖面がハスやジュンサイなどで覆われると生育できないこと、ザリガニやイネネクイハムシによって食われてしまうことなどを学びました。特にイネネクイハムシによって葉に穴を開けられてしまうことについてはびっくりでした。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月21日(水)	6月28日(水)
上越南消防署	0.050	0.050
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.063	0.067
東頸消防署	0.047	0.040
名立分遣所	0.047	0.057
高士分遣所	0.047	0.053